

2019 年度 東三河振興ビジョンの進捗状況

～豊かさが実感できる 輝く「ほの国 東三河」の実現に向けて～

主な取組の一覧

- 本資料は、東三河振興ビジョンに沿った 2019 年度の主な取組についてまとめたもの。
- 以下の取組を優先して記載した。
 - ① 2019 年度に新たに実施されたもの
 - ② 類似の取組がないもの
 - ③ 規模の大きいもの
- 各取組ごとに、関連する主要プロジェクト推進プランを以下の記号で表示した
 - 地方創生** …… 地方創生事業の広域展開
 - 新東名** …… 新東名インパクトを活かした地域振興～広域観光の新展開～
 - 人が輝き** …… 「人が輝き活躍する東三河」の実現
 - スポーツ** …… 世界・全国レベルのスポーツ大会等を生かした地域連携
 - 交通基盤** …… 交通基盤の整備と利便性向上に向けた地域連携の推進

1 東三河の魅力の創造・発信 ～地域内外に誇りうる魅力ある地域づくり～

【施策の方向性】

変化し続ける観光客のニーズや他地域との差別化を念頭に置きながら、伝統文化等の各地域の特性を活かした個性的な地域づくりや、地域資源の磨き上げを行っていきます。また、東三河の魅力が的確に伝わるよう、地域ブランドの構築を図っていきます。

さらに、広域交通網の整備効果を活かしながら、国内外からの誘客を強化するため、遠州地域や南信州地域、伊勢志摩地域等と連携しながらプロモーションを展開していきます。

愛知デスティネーションアフターキャンペーンの実施【JR グループ、県、市町村、観光事業者】

- 2019年10月1日から12月31日の3ヶ月間、「愛知デスティネーションアフターキャンペーン」を開催。キャンペーンイチョシ企画や、周遊バス、観光列車等を実施。

〈注目企画〉

- ・ 吉田城鉄櫓手筒花火特別放揚
- ・ 鳳来寺山 特別拝観プレミアムガイドツアー など

〈周遊バス〉

- ・ たはらは農業王国！農業体験とジャングル探検
- ・ 豊川稲荷秋季大祭&まぐろ解体ショーとセリ体験 など

〈観光列車〉

- ・ 地元タイアップ観光列車 おいでん奥三河（豊橋～新城）



（愛知 DC ロゴマーク）

地方創生

新東名

交通基盤

奥三河パワートレイルの開催【新城市、設楽町、東栄町、豊根村、県】

- 茶臼山高原（豊根村）から湯谷温泉（新城市）までを走るトレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」を開催。

〈第5回大会〉

- ・ 開催時期：2019年4月6日（土）～7日（日）
- 出走者数：841人（うち完走者数568人）

- エイドステーションにおいて、ランナーに地域特産品を提供するとともに、上位入賞者へ東栄町のチェンソーアートで作成したイノシシのトロフィーを贈呈。
- フィニッシュ会場で開催された「トレランEXPO」では、長篠陣太鼓の演奏を実施するとともに、奥三河の特産品を販売。



（奥三河パワートレイル）



（エイドステーションの様子）

地方創生

スポーツ

ダモンデトレイルの開催支援【新城市】

- 1周約2.7kmの特設トレイルコースを周回する3時間耐久のトレイルランニング大会「ダモンデトレイル」を開催。（地域おこし協力隊による立上げ）

ソロやチーム、ファミリーでも参加でき、経験者でも初挑戦でも楽しめるトレイルレース。

- ・開催時期：2019年5月12日(日)
2019年10月20日(日)

地方創生 スポーツ



(ダモンデトレイル)

東三河マラソンシリーズの開催【県】

- 東三河で行われるマラソン大会を対象とした「東三河マラソンシリーズ」を開催。これまで奥三河で行われた大会に蒲郡の三河湾健康マラソン大会を加えた、3大会で実施。対象大会の全てに参加し完走した方を対象として、種目ごと記録に応じたポイントが加算され、合計ポイントによりランキングを決定。ランキング上位者へ奥三河の黒毛和牛「鳳来牛」などの特産品を贈呈。

地方創生 スポーツ



(東三河マラソンシリーズ)

「あいちスポーツコミッション」による支援【県】

- 全国、世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる取組を地域の関係者で連携・推進するため、「あいちスポーツコミッション」を2015年4月1日に設立。自治体の他にも、スポーツ関係団体、経済・観光団体、マスメディア、企業・NPOなどが参画し、地域の関係者が一体となって、スポーツ大会招致、合宿誘致、大会育成活動、地域活性化促進活動等の取組を推進。

地方創生 スポーツ

動画等による東三河の魅力情報発信・拡散【県】

- 都市部の人々に山間地域を訪れて魅力を知ってもらうことを目的に、「愛知高原・奥三河の唄」スペシャル動画及びPR動画を作成。また、豊かな自然やスポーツ等、東三河の魅力を伝えるプロモーション動画「Higashimikawa in 8K」を作成。

〈愛知高原・奥三河の唄〉スペシャル動画及びPR動画

- ・芸人はなわさんとのコラボにより、地元応援ソング「愛知高原・奥三河の唄」を制作。
- ・愛知高原・奥三河の市町村をそれぞれ紹介するPR動画（15秒）を作成。それぞれの市町村の観光名所や特産品などをコンパクトにまとめて紹介。

〈Higashimikawa in 8K〉

- ・豊かな自然、歴史、伝統文化、さらにはスポーツ体験など、東三河地域の魅力を伝えるプロモーション動画「Higashimikawa in 8K」（総集編、カテゴリー編の計11本、日本語・英語の2言語対応）を作成。

地方創生



(Higashimikawa in 8K)

奥三河魅力創造発信事業【県、奥三河 DMO】

〈okumikawAwake〉

- ・奥三河 4 市町村を旅するツーリズム「okumikawAwake」。美と健康をテーマとした「okumikawAwake」ブランドの本格的なプロモーション開始。



(okumikawAwake HP)

〈EXPLORE OKUMIKAWA〉

- ・奥三河 4 市町村のスポーツや自然などの魅力が詰まった PR 動画「EXPLORE OKUMIKAWA」を作成。ラグビーワールドカップイベント会場（豊田市内）や G20 外務大臣会合海外プレス向け魅力発信ツアーのバス車内で上映。



(EXPLORE OKUMIKAWA)

地方創生

連続テレビ小説「エール」の撮影協力などによる連携強化【愛知県東三河広域観光協議会、豊橋市、豊橋商工会議所】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。
- 2019 年 7 月 12 日に「『エール』で豊橋を盛り上げる会」を設立。HP による魅力発信、フラッグ、ポスター等の作成、土産物の開発、特産品プロモーションの実施。



(エールで豊橋を盛り上げる会について)

地方創生

道の駅「とよはし」オープン【豊橋市】

- 地元のこだわりの食材を使った飲食店や特産品を扱うショップが入居する「T o m a t e（トマト）」、旬の農産物を取り揃える「あぐりパーク食彩村」やサイクリストの拠点整備により豊橋の魅力を発信。



(道の駅「とよはし」)

地方創生

新東名

東三河レストランバスの運行【東三河レストランバス実行委員会】

- 地元の食材を使った料理と絶景が楽しめるレストランバスコースを、東三河全域に拡大し運行。間近に生産地が感じられる 6 つのコースを用意し、全 33 回ツアーを運行。
 - ・開催期間：2020 年 2 月 1 日（金）～3 月 29 日（日）
 - ・参加人数：延べ 515 人
 - ・コース
 - 渥美半島 三河湾コース
 - 渥美半島 太平洋コース
 - 豊川・蒲郡 稲荷-海産物コース
 - 豊川・蒲郡 神社-海産物コース
 - 奥三河 東栄・豊根コース
 - 奥三河 新城・設楽コース



(レストランバスの様子)

地方創生

アンテナショップの実施【豊橋市、新城市】

- 2019 年度の第 2 土曜日を基本に毎月 1 回、全国の農産物などが販売される東京都千代田区の交通会館マルシェで、豊橋産の農産物と加工品を販売。（豊橋市）
- 藤が丘中央商店街振興組合内の新城市アンテナショップ「山 PORT 新城」で地元特産品を販売。物産市「しんしろマルシェ」も地下鉄藤が丘駅隣の広場で定期的に開催。（新城市）

地方創生

新東名



（豊橋市 交通会館マルシェの様子）



（新城市 アンテナショップの様子）

「映画「ゾッキ」蒲郡プロジェクト委員会」によるロケ支援【蒲郡市】

- 2020 年 1 月に「映画『ゾッキ』蒲郡プロジェクト委員会」を設立。竹中直人・山田孝之・齊藤工、3 人の監督による、映画「ゾッキ」（蒲郡出身の漫画家大橋裕之氏原作）の撮影サポート、食事、車両の手配等ロケ支援。地域プロモーションの実施。

地方創生



（プロジェクト委員会について）

「どんぶりサミット in 田原 2019」の開催【田原市】

- 地域の食材を生かした丼を通じ、食文化の継承、地域経済の活性化を目的に開催。田原の「田原牛と釜揚げしらすビビンバ丼」や新城の「鳳来牛すき焼きどんぶり」など東三河を中心とした 18 店舗が 31 品を出品。
 - ・開催日：2019 年 11 月 9 日（土）～10 日（日）
 - ・来場者：約 41,000 人

地方創生



（どんぶりサミット in 田原 2019）

三河港における招請事業【県】

- 外航クルーズ船社の担当者等を上海等から招請し、港湾管理者、地元市町とともに三河港と県内観光地の視察を実施。
 - ・日程：2020 年 2 月 5 日（水）～8 日（土）
 - ・対象：上海等を拠点とする船社等 3 社
 - ・人数：3 名

新東名



（視察の様子）

あいちの山里関係人口創出事業の実施【県】

- 三河山間地域の魅力等を様々なメディア等を活用して情報発信。関係人口の増加を図り、経済活動の拡大や移住・定住を促進。
 - ・TVによる情報発信
30分枠の特別番組のほか、朝の情報番組内で紹介（27回）
 - ・スマホアプリを活用したクイズラリーの開催（豊根村）：参加人数 102人
 - ・アウトドアイベントの開催（東栄町）：参加人数 380人
 - ・花祭周遊バスの運行：乗車人数 延べ 265人

地方創生

「東栄フェスティバル」の開催【東栄町】

- 東栄町内の各地区に伝わる国指定重要無形民俗文化財「花祭」の披露のほか、静岡県浜松市水窪の「西浦田楽」、設楽町津具の「津具花祭」といった町外の民俗の伝統芸能も集結し、それぞれの祭りの見どころを披露。
 - ・開催日：2019年11月3日（日・祝日）
 - ・来場者：約 16,000人

地方創生



（東栄フェスティバル）

地域おこし協力隊の活動【新城市、設楽町、東栄町、豊根村】

- 新城市、設楽町、東栄町、豊根村では地域おこし協力隊が活動しており、スポーツツーリズム関連活動、地場産業の魅力化研究員、ビューティーツーリズム naori（なおり）事業、チョウザメ養殖技術の取得と産業化への取組などを推進。

〈地域おこし協力隊の人数（2019年度）〉

新城市 2人、設楽町 5人、東栄町 2人、豊根村 3人

地方創生

新東名

スポーツ

移住・交流&地域おこしフェアへの出展【蒲郡市、設楽町、東栄町、豊根村】

- 東京ビッグサイトで開催された、各地の自治体が移住者を呼び込むための「移住・交流&地域おこしフェア」に出展し、主に首都圏から集まった来場者に東三河の豊かな自然などをPR。

地方創生

2 豊かな自然の保全・再生 ～人と豊かな自然が共生する地域づくり～

【施策の方向性】

里地・里山・里海における生物多様性保全の取組により、森・川・海の命が連なる流域圏づくりを推進していくとともに、豊かな自然環境を農林水産業の生産の場としてはもとより、教育や健康増進、観光振興等の地域資源としての活用を進めていきます。

また、三河湾の環境再生に向けては、流域全体での関心を高めながら、陸域からの汚濁負荷量の削減や、多様な生態系の働きによる水質浄化機能の回復等に取り組んでいきます。

東三河ジオパーク構想の推進【市町村、県】

- 2016年5月に東三河8市町村が参加する「東三河ジオパーク構想推進準備会」を発足。
- 2018年3月に、東三河ジオパーク構想のとりまとめに向けたテーマ「中央構造線でつながる大地！『ほの国 東三河！』」を決定。
- 「ジオパーク」を切り口に「東三河」の魅力を紹介する企画展「ジオパークを知ろう！」を開催
 - ・開催日：2019年7月20日（土）～9月29日（日）
 - ・会場：豊橋市自然史博物館
- 東三河ジオパーク構想の普及啓発を目的としたシンポジウム「奥三河の大地と花祭り」を開催。
 - ・開催日：2019年11月9日（土）
 - ・会場：東栄町グリーンハウス
 - ・参加者：27名
- 東三河のジオ(大地)の魅力や、大地と動植物・人との関わりを体感するジオツアーを開催。
 - ・テーマ：「中央構造線 V Road をゆく」
 - ・開催日：2020年2月8日（土）
 - ・場所：新城市他
 - ・参加者：39名



（ジオツアーの様子）

地方創生

三河湾環境学習会の開催【県】

- 三河湾の環境について学んでもらうため、蒲郡市沿岸及び三河湾海上で、三河湾環境学習会を開催。セミナーで三河湾の環境について学んだ後、県立三谷水産高等学校の実習船「愛知丸」に乗船し、船内見学、三河湾海上での環境調査などを実施。
 - ・開催日：2019年8月3日（土）
 - ・参加者数：40人



（三河湾環境学習会）

「いらご さららパーク自然観察サポーター」のガイドによる自然観察会【県】

- 2013年～2017年度にかけて整備した伊良湖休暇村公園内「いらご さららパーク」において、当地の自然環境の魅力発信等を行う「自然観察サポーター」を設置し、毎月第1・第3日曜日、第2・第4月曜日に自然観察会を実施。



(自然観察会の様子)

アカウミガメ保護のための表浜海岸の共同パトロール【県、豊橋市、田原市】

- アカウミガメの産卵期を前に、行政と地域の保護団体等が協力して、豊橋市小島海岸と田原市赤羽根西海岸の2箇所で車両の乗り入れ規制周知のためのパトロールと海岸清掃を実施。

・開催日：2019年5月19日(日)

地域環境リーダー活躍促進【県】

- 東三河の各地域で活動する地域環境リーダーが、小学生を対象にした出前講座と高校生を対象にしたツアーガイド体験事業を実施。最後に、東三河生態系ネットワークフォーラム、渥美半島自然環境学習フォーラムでそれぞれの成果を発表。



(ツアーガイド体験事業の様子)

「奥三河高原 ジビエの森」の運営支援【設楽町】

- 奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会に対して、「奥三河高原 ジビエの森 (2015年4月稼働)」の運営を支援。

イノシシ・ニホンジカを食肉加工し、道の駅「もっくる新城」等奥三河地域の飲食店等へ食材を供給。

また、奥三河DMOが、「ジビエの森」のジビエ商品を「okumikawAwake」ブランドに加え、プロモーションを開始。



(奥三河高原 ジビエの森)

3 地域産業の革新展開 ～力強い産業が展開する地域づくり～

【施策の方向性】

環境問題や高齢社会への対応といった社会的課題に焦点を当てながら、本地域の強みであるモノづくりの素地を活かし、次世代自動車や健康長寿、新エネルギーといった次世代産業の創出・集積や、それらの産業をリードする人材の育成を進めていきます。

また、農林水産業については、農商工連携や産学官による技術開発等の促進、さらには海外マーケットへの進出により、地域を牽引する成長型産業への躍進を図っていきます。

海外マーケットに対する販路開拓

【県】

- 県産農林水産物の輸出を促進するため、中部国際空港の国際線制限エリア内で生鮮食品や加工品を販売する店舗「Centrair OISHII Premium Selection ショップ」に愛知県の農産物コーナー「Eat More Aichi Products」を設置。

- ・期間：2019年6月12日（木）～2020年3月31日（火）
- ・内容：東三河産農作物を含む旬の県産農産物の販売
外国人を対象に嗜好性調査・試食販売 PR



(Eat More Aichi Products の様子)

地方創生

【豊橋市・㈱サイエンスクリエイト】

- 農産物の海外マーケットに対する販路開拓のため、店頭プロモーションや商談会を実施。

〈店頭プロモーション〉

- ・シンガポール：次郎柿（11月）
キャベツ、トマト（1月）
- ・タイ：巨峰、シャインマスカット（7～8月）

〈商談会〉

- ・タイ（11月）



(プロモーションの様子)

【蒲郡市】

- 「香港フード・エキスポ 2019」にブース出展し、市の食品関連事業者の海外販路開拓を支援。

- ・期 間：2019年8月15日（木）～17日（土）の3日間
- ・場 所：香港コンベンション&エキシビジョンセンター
- ・参加者：食品関係事業者5社（15品）



(香港フード・エキスポ 2019)

企業誘致推進【豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市】

- 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の5市が連携し、企業用地と地域の魅力を紹介するとともに企業立地の推進を目的とした「東三河5市企業用地見学ツアー」を開催。
 - ・開催日：2020年1月27日（月）
 - ・会 場：豊川市（御津1区）蒲郡市（浜町地区）
 - ・出席者：企業・団体31社
東三河5市、愛知県



（企業用地見学ツアープレゼンテーションの様子）

- また、企業誘致に向けて、新城インター企業団地（新城市土地開発公社）や、豊橋三弥地区工業用地の整備（愛知県企業庁）を推進。

再生医療産業化の推進【蒲郡市】

- 蒲郡市ヘルスケア計画に基づき再生医療のまちづくりを推進するため、再生医療に関する事業を企画運営する「蒲郡再生医療産業化推進委員会」を2015年に設立し再生医療キャリアビジョン育成ツアー、市民講座、小学生講座を継続的に実施。

ドローン・エアモビリティに関する新産業の集積に向けた取組【豊川市・新城市】

- ドローンを活用した地域社会の実現に向けて、豊川市及び新城市における物流、農林水産業、測量など幅広い分野の地域課題の解決にあたり、ドローンの活用・普及に関し官民が連携して推進することを目的に「ドローンを活用した地域社会の実現に向けた官民連携検討準備会」を設立。
- ドローン等の未来技術を活かした地方創生の深化を図り、新産業の集積等へつなげるため、関係者の理解促進を目的とした「ドローンを前提とした地域社会の実現に向けたシンポジウム in 豊川」を、企業、経済団体、大学、行政機関等を対象に開催。
 - ・開催日：2019年11月22日（金）
 - ・場 所：豊川市民プラザ、豊川市総合体育館
- 今後の社会の担い手となる子どもたちに対し、ドローンをより身近に感じてもらえる機会として、ドローンを使ったクリスマスイベント「スカイサンタクロース」を実施。
 - ・開催日：2019年12月16日（月）
 - ・会 場：豊川市立一宮南部小学校
新城市立庭野小学校



（シンポジウムの様子）

4 安心・安全な地域づくり ～安心して安全に生活できる地域づくり～

【施策の方向性】

東海、東南海及び南海地震の三連動地震や南海トラフを震源とする巨大地震、台風・集中豪雨等の自然災害に対し、ハードとソフトの両面において、生命・財産を守る防災・減災対策を強化していきます。

また、医療や介護の課題に対し、地域間における連携や地域全体での支え合い等を促進しながら、充実・強化を図るとともに、交通安全・防犯対策を進め、地域の安心・安全を確保する取組を強化していきます。そして、奥三河においては、集落機能の維持・再生や生活環境までを見据えた、きめ細かな対応を行っていきます。

三河港（神野地区）耐震岸壁整備【三河港振興会・県】

- 南海トラフ巨大地震など、大規模地震時における背後圏の緊急物資輸送及び物流機能の維持を目的とした「三河港（神野地区）耐震強化岸壁」の整備について、事業主体である国に働きかけを実施。岸壁の延伸と、それに伴う県が実施しているふ頭再編により、平時の効率的な物流機能が確保され、三河港を利用する地域の産業の国際競争力向上を期待。



（耐震岸壁整備の状況）

三河の山里サポートデスクの運営【県】

- 移住や起業、集落支援などを総合的にサポートする現地拠点「三河の山里サポートデスク」を運営し、その取組のひとつとして、「三河の山里集落応援隊」による集落活動支援を実施。
- 集落活動の応援を個人に呼びかけ草刈り作業やイベントのお手伝いなど三河山間地域の集落等の望む活動とマッチングし、交流しながら集落機能の維持・活性化を促進。

・登録者 71 人（2020. 3. 18 現在）

地方創生

過疎バス路線維持に対する支援【県】

- 山間地域の住民の足として利用されている「乗合バス事業者の運行路線」及び三河山間地域市町村が住民の交通の利便を確保するため運行する「市町村営バス路線」の維持に対する支援を実施。

交通基盤



（おでかけ北設マスコットキャラクター）

5 誰もが活躍できる地域づくり ～誰もが希望を持って活躍できる地域づくり～

【施策の方向性】

若者、女性、高齢者、外国人など誰もが能力を十分に発揮し、社会の様々な場面で活躍できるよう、きめ細かな教育環境づくりや職業観・職業能力の育成、多様で柔軟な働き方を可能とする就業環境の整備などの取組を進めていきます。

また、拡大する公共ニーズを地域全体で支える「新しい公」の担い手として、企業やNPOなど様々な主体との連携・協働を促進し、相乗効果を生み出していきます。

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、㈱サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 2014年10月に、東三河地域の産学官が連携し、地域経済の持続的発展のため、その担い手となる人材育成の活性化を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 2019年度は、「ドラマ制作から見た人づくり」をテーマとした人材育成講演会等を開催。
 - ・開催日：2020年2月13日（木）
 - ・会場：穂の国とよはし芸術劇場PLAT
 - ・講演者：福澤克雄氏（TBSドラマディレクター、豊橋ふるさと大使）
 - ・参加者数：226名



（人材育成講演会の様子）

地方創生

東三河産業アカデミーの開催【東三河広域経済連合会】

- 高度な企業人材を育成するため、東三河の商工会議所・商工会が連携し、全会員を対象として経営幹部及び管理監督者向けなどの人材育成セミナーを開催。
- 2019年度は、「1級建築施工管理技術検定受験対策講習会」等、21講座を開催。
合計366社、544名が参加

地方創生

移住・定住等促進事業【県】

＜東三河魅力発見ノート作成＞

- 地元への愛着を高め、地元定着やUターン就職の促進を目的に、小学5・6年生及び中学生向けに東三河のチカラや暮らしやすさ等の魅力を、経済指標や住民アンケート結果等で「見える化」して伝えるパンフレット「東三河魅力発見ノート」を作成。

地方創生

＜奥三河魅力発見プログラム事業＞

- 奥三河の小学生を対象とし、リアルな職業体験を通して社会の仕組みを学び、その機能や役割について考える事を目的に、奥三河の地域資源を活かした小学生職業体験や奥三河地域にまつわるクイズを行う「こども奥三河検定」を実施。

地方創生



（東三河魅力発見ノート）

＜「地元愛」醸成イベントの開催＞

- 写真・動画共有アプリ Instagram を活用した写真投稿イベントを開催。募集した写真を活用し中日新聞紙面を通じて「東三河の魅力」を県内外に発信。

- ・ 募集作品：東三河地域の風景、街並み、祭り、スポーツ、グルメなどで、「いいね！」と感じた東三河の魅力の写真

- ・ 募集期間：2019年7月17日（水）～10月31日（木）

地方創生



（イベントチラシ）

＜成人式で東三河県庁新聞を配布＞

- 新成人向けに、東三河地域の「快適な暮らし」や「経済的な豊かさ」などの魅力を経済指標や住民アンケート結果等を交えて伝える「東三河県庁新聞」を作成し、東三河8市町村の成人式で配布。

- ・ 配布日：東三河8市町村の成人式

（2020年1月2日（木）豊根村、2020年1月12日（日）

豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町）

地方創生

人が輝き



（東三河県庁新聞）

＜奥三河の新成人への「Yell エール」の配布＞

- 新成人向けに、奥三河出身者のUターン促進を目的にした奥三河ふるさと写真集「Yell エール」を、新城市、設楽町、東栄町、豊根村の4市町村の成人式で配布。

地方創生

人が輝き



（Yell エール）

東三河若者人材確保支援事業【県】

- 大都市圏からの若者の流入及び東三河以外出身学生等の東三河への就職を促進するため、東三河の企業や地域の魅力などの情報を提供し、企業の認知度や地域の好感度の向上を図る東三河の魅力企業スタディープログラム等を実施。

- ・ 企業研究活動支援事業

東三河の魅力企業スタディープログラム 15回

親子で考える就活事情ワークショップ 3回

- ・ 新卒・転職者UIJターン支援事業

東三河のステキ企業発見フェア 1回

人材確保・定着支援セミナー 2回



（東三河の魅力企業スタディープログラムの様子）

地方創生

「モグジョブ」の開催【豊橋商工会議所】

- お昼休みに学食でランチを食べながら、学生と企業が少人数で交流するサービスを2018年10月に開始。
 - ・実施場所：愛知大学豊橋キャンパス、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学
 - ・実施回数：38回
 - ・参加企業延べ100社、参加学生延べ286名

地方創生



(モグジョブの様子)

「まじカフェ」の開催【東三河広域連合】

- 学生が就職や仕事について考える機会をつくとともに、学生に地元企業の魅力を知っていただくため、学生が地元企業と気軽に交流できる「まじカフェ」を開催。

〈豊橋技術科学大学〉

開催期間：2019年10月24日～29日

参加企業29社、参加学生81名

〈愛知大学豊橋キャンパス〉

開催期間：2019年10月31日

参加企業20社、参加学生35名

〈豊橋創造大学〉

開催期間：2019年11月30日、2020年2月19日

参加企業28社、参加学生283名



(まじカフェの様子【豊橋創造大学】)

〈愛知工科大学〉

開催期間：2020年1月16日

参加企業9社、参加学生14名

〈タリーズコーヒー豊橋駅前店〉

開催期間：2020年1月28日、29日
2月3日～5日

参加企業30社、参加学生97名



(まじカフェの様子【タリーズコーヒー】)

〈星が丘テラス星が丘天文台ワークラウンジ〉

開催期間：2019年12月18日

参加企業5社、参加学生15名

〈Carlova360 NAGOYA〉

開催期間：2020年2月20日

参加企業2社、参加学生5名

〈The Y's Cafe〉

開催期間：2020年2月21日

参加企業3社、参加学生8名

地方創生



(まじカフェの様子【星が丘テラス】)

東三河学生就職 NAVI などによる地元企業への就職支援【豊橋商工会議所】

- 東三河で就職したい学生と地元優良企業を結ぶ、就活応援サイト「東三河学生就職 NAVI」や合同企業説明会など、同一地域内で類似サービスを展開していた地元新聞社とタイアップし、内容を充実。

地方創生

「ミライカフェほの国 2020」の開催【県・東三河地域研究センター】

- 東三河地域を「住み続けたい町」、「住んでみたい町」に変えていくため、高校生によるグループワーク、ビジネスプラン等の取組発表を実施。
 - ・開催日：2020 年 2 月 1 日（土）
 - ・参加者：5 校、25 名の生徒が参加

地方創生



（ビジネスプラン等の発表の様子）

東三河地区中高連携キャリアフレッシュセミナーの開催【県】

- 東三河 8 市町村の中学 1 年生と保護者に、東三河の高校の学科紹介（普通科・専門学科の高校 12 校 10 学科）と高校生との語り合いを通して、将来の夢や進路を考える機会を創出するキャリアフレッシュセミナーを開催。
 - ・開催日：2019 年 8 月 24 日（土）
 - ・会 場：愛知大学豊橋キャンパス
 - ・参加者数：653 名（中学 1 年生と保護者、高校生）

地方創生

人が輝き

愛知県立田口高校『お仕事フェア』開催【設楽町・東栄町・豊根村】

- 2019 年 7 月 4 日に、卒業後の就職を見据え、地元に着定して働くことを選択肢として考えてもらえるよう、高校体育館で「お仕事フェア」を開催。地元企業など 16 社が出展。高校生（92 人）だけでなく、北設楽郡内の中学 2 年生（58 人）が参加。

地方創生

人が輝き



（『お仕事フェア』の様子）

ビジネスパーク事業によるキャリア教育の実施【豊橋商工会議所、豊橋市】

- 豊橋商工会議所の会員事業所などに所属する地域の社会人が、職業の内容や地域で働く役割・意義などを中高生に伝えるもので、豊橋市のキャリア教育にも位置づけられており、生徒が将来や職業を考えるきっかけを創出。

〈2019 年度春〉

- ・参加校数 17 校、参加生徒数 2,788 名、講師数 237 名、164 講座

〈2019 年度秋〉

- ・参加校数 2 校、参加生徒数 502 名、講師数 28 名、18 講座



（ビジネスパークの様子）

地方創生

人が輝き

「豊橋イノベーションガーデン」を核とした人材育成【豊橋市、㈱サイエンスクリエイト】

- 豊橋サイエンスコア 1 階に広がる下記の三つの機能を備えた「豊橋イノベーションガーデン」を核として、ワークショップ、講習会、食品の試作開発及びハッカソンの開催など、多様な人材の交流・連携を促進し、ハード・ソフトの両面から起業家や技術者を育成。

＜メイカーズ・ラボとよはし＞

最新のデジタル工作機械を備えたものづくりや技術支援の場

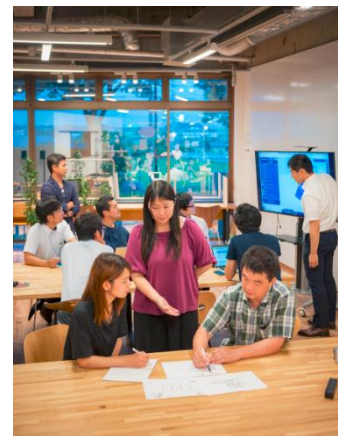
＜Startup Garage＞

コワーキングスペースと専門家による起業に向けた相談・伴走支援の場

＜アグリフード・ラボ＞

地域の農産物を活用した食品メニューの試作開発の場

※ハッカソン：ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた言葉。提示されたテーマに対して、決められた時間の中で、自分たちのスキルを活用して何らかの成果物を製作する、参加型のイベント。



(Startup Garage の様子)

地方創生

人が輝き

あいちワーク・ライフ・バランスの推進運動【あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会】

- 仕事と生活の調和した社会の実現に向けて、「愛知県内一斉ノー残業デー」として定時退社を促す街頭啓発活動を県内 5 箇所で開催。

・開催日：2019 年 11 月 20 日（水）

・会場：豊橋駅ペDESTリアンデッキ 他

人が輝き

多文化子育てサロンの実施【県】

- 子どもの成長に従って保護者に求められる日本語能力の育成、子どもの言語習得や将来的な学力形成の促進、地域の日本人親子との交流と相互理解を目的に、豊橋市内で「多文化子育てサロン」を全 8 回実施。



(サロンの様子)

市民やボランティア等の活動を支援【東三河市民活動推進協議会】

- 登録している市民活動団体の活動内容やイベントを紹介する東三河市民活動情報サイト「どすごいネット」を、2019 年 7 月にリニューアル。サイト内で各団体のイベント情報や、トヨカワシティマラソン大会のボランティア募集記事を掲載。また、市民活動団体の交流事業「どすごいバスツアー」を毎年開催。



(どすごいネット)

6 地域を支える社会基盤の整備 ～地域の産業や暮らしを支える社会基盤の整備～

【施策の方向性】

「東三河 1 時間交通圏」を確立する道路整備や、バス、鉄道、フェリーといった地域公共交通の維持・確保により、地域内外とのネットワークを充実していきます。

また、世界と直結する三河港の機能強化を進め、グローバルに事業展開する産業を支えるとともに、三河港周辺の国際的な生産・物流拠点の形成や新たな産業集積につなげていきます。

あわせて、活発な産業活動が持続可能となるよう、水資源やエネルギーの安定的・恒久的な確保を図っていきます。

広域的な幹線道路網の整備促進【市町村、東三河広域経済連合会、県】

- 三遠南信自動車道、名豊道路の未開通区間の早期整備や浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の早期実現等を地域が一体となって国に働きかけるなど、広域的な幹線道路網の整備を促進。
- 三遠南信自動車道の天龍峡 IC～龍江 IC 区間が 2019 年 11 月 17 日に開通。
- 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）については、2017 年 8 月、国、愛知・静岡 2 県、豊橋・田原・浜松・湖西 4 市による連絡調整会議が発足。2018 年 3 月、2018 年度中部地方整備局関係予算概要で、「概略ルート・構造の検討」を発表。2018 年 4 月に連絡調整会議がサービス水準、概ねの起終点を発表（三ヶ日 JCT、三河港）、2018 年 12 月に中部地方小委員会が計画段階評価の手続きを開始。2019 年 5 月に国土交通省が、道路に求められる機能等について住民アンケートを実施。
- 国道 151 号においては、新城バイパス工事、宮下交差点立体化工事着手、一宮バイパス整備に向けた用地買収や工事を実施。
- 東三河環状線においては、未開通区間の用地買収や工事を実施。
- 東名高速道路の三ヶ日 JCT～豊川 IC 間の豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の計画的かつ効率的な準備・検討を進めることを目的として、第 1 回準備会を開催。

新東名

交通基盤

三河港の機能強化【県】

- 神野西地区、蒲郡地区におけるふ頭用地の整備や、神野西地区における岸壁の整備を実施。また、ラグーナ大塚地区支援策として臨港道路を整備。
- 急速に変化する社会情勢及び港湾への要請に応じていくため、三河港港湾計画の改訂作業に着手し、学識経験者や港湾関係者などと幅広く意見交換を行う場として、三河港港湾計画検討委員会を開催。



（三河港）

三河港の海外ポートセールスの実施【三河港振興会】

- 三河港利用促進のため、豊橋市長を団長とする海外ポートセールスミッション団をベトナム（ハイフォン、ハノイ）に派遣し、三河港の利便性をアピール。

- ・日 程：2019 年 11 月 6 日（水）～9 日（土）

- ・訪問先：ベトナム（ハイフォン、ハノイ）

SITC ベトナム本社、DINH VU PORT（ターミナル運営会社）、野村ハイフォン工業団地開発会社、MUSASHI AUTO PARTS VIETNAM



（海外ポートセールスの様子）

設楽ダム建設に伴う、生活基盤整備等の生活再建対策の推進【市町村・県】

- 設楽ダムの建設により、設楽町の生活環境等が著しい影響を受けることから、その影響を緩和するため、設楽町内の生活・産業基盤の整備を 2008 年度より実施。2021 年度の春には、「道の駅したら・設楽町歴史民俗資料館（仮称）」や「田口浄化センター（仮称）」が供用開始予定。

- また、国土交通省が行う設楽ダム建設事業は、2019 年度に設楽ダム本体左岸掘削工事に着手。



（道の駅したら・設楽町歴史民俗資料館（仮称））

市民ファンドを活用した公共施設における太陽光発電事業【市町村・県】

- 地域住民と一体となった再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、市民ファンドを活用した資金調達を条件として、公共施設における屋根貸し太陽光発電事業者を公募。

- 愛知県では、2015 年 6 月 18 日から発電を開始した水産試験場を始めとする 5 施設で発電を継続。

- さらに、2016 年 4 月 25 日には、豊川浄化センターの敷地を活用した太陽光発電施設（1,990kW）が稼働。

- 新城市では、市有施設の屋根貸し事業において、プロポーザルで選定された事業者が、市民ファンドを活用して出資を募り、新城市文化会館を始めとする 23 施設で発電を開始。

- 豊橋市では、第三セクター「サイエンス・クリエイト」が市民ファンド（みんなおい電市民ファンド）を活用して豊橋市民から出資を募り、市の遊休施設を活用した太陽光発電所を設置。2015 年 4 月より発電を開始。2016 年 6 月に出資者へ初配当を実施。



（豊川浄化センター）



（新城市文化会館）

水源林保全流域協働事業【豊川水源基金】

- 水源涵養などの公益的機能を有している水源林を維持・保全するため、東三河の全市町村が協働し、水道料金 1 トン 1 円相当額を拠出することにより、森林整備を担う人材育成事業や森づくり事業を支援。



（森林整備を実施した森林）

豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業【県】

- 豊川浄化センターにおいて、汚泥処理施設の改築とバイオマス利活用施設の新設及び運営を行う事業をPFI手法により事業化。2014年12月に事業者と契約、2017年2月1日より発電開始。



(豊川浄化センター：PFIで再稼働したメタン発酵施設)

「エコたび東三河」の作成・配布【県】

- 鉄道やバスなど公共交通機関を利用して、東三河地域を訪れていただくことを目的としたパンフレット・動画「公共交通で行く愛知県の旅『エコたび東三河』」を作成。「鳳来寺山で森林浴 山歩きミニトリップ」など、東三河の自然や歴史、文化など魅力ある観光資源をめぐる旅のプランを10プラン紹介。

交通基盤



(エコたび東三河)

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業（中島処理場）【豊橋市】

- 中島処理場において、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみからバイオガスを生成し、エネルギー利用する事業をPFI手法により実施。2014年12月に民間事業者と契約し建設を行い、2017年10月1日より豊橋市バイオマス利活用センターとして供用開始。



(豊橋市バイオマス利活用センター)

7 地域力・連携力の発揮 ～愛知県、ひいては日本の発展の一翼を担う地域づくり～

【施策の方向性】

産業振興や行政の効率化など、地域の様々な課題を解決するため、地域づくりの主体となる県、市町村、経済団体、大学、NPO、住民等が共通の課題認識のもとに、それぞれが持つ強みを活かしあった連携を推進していきます。

また、これまで培ってきた三遠南信連携の実績や信頼感をもとにしながら、より活発な取組へと深化させていきます。

東三河広域連合による連携強化

- 2015 年度は東三河が出店を目指すべきアンテナショップのコンセプト及びモデルの構築、2016 年度には「まるごとにつぼん」、「東京シティアイ」にてブランドショップの実現性・実行性を図る実験を実施。これらを踏まえ、2017 年度は、東三河ブランドショップ設置に向けた詳細な検討を行うための基礎資料として、具体的な候補地やショップの機能、設置・運営に係る費用やスキーム、費用対効果など、様々な角度から検討可能な事業計画を策定。

地方創生

東三河広域連合・愛知県東三河広域観光協議会による連携強化

- 東三河広域連合と愛知県東三河広域観光協議会が連携し、「東三河の物産と観光フェア」を開催。

＜東三河の物産と観光フェア＞

イオン(株)との共催により、第3回目の取り組みとなった「東三河の物産と観光フェア」を開催。

＜イオン岡崎南店＞

- ・開催日：2019 年 10 月 4 日（金）～6 日（日）の 3 日間
- ・会 場：イオン岡崎南店 1 階催事場
- ・出店数：20 事業者

＜イオンモール新瑞橋店＞

- ・開催日：2020 年 1 月 18 日（土）～20 日（月）の 3 日間
- ・会 場：イオンモール新瑞橋店 1 階セントラルコート
- ・出店数：19 事業者

地方創生

愛知県東三河広域観光協議会による連携強化

- 2019 年度は、東三河各地域団体等との連携を図りながら「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2019」への出展。

＜VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2019 への出展＞

国内最大のインバウンド商談会である日本政府観光局主催「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2019」に参加し、各国のバイヤーへ東三河の魅力を PR。

- ・開催日：2019 年 10 月 24 日（木）～26 日（土）
- ・会 場：インテック大阪
- ・参加者総数：海外バイヤー304 社（32 の国と地域）/海外メディア 22 社
国内セラー366 社・団体

新東名

東三河広域経済連合会による連携強化《再掲》

- 東三河地域の商工会議所・商工会が連携して、経営幹部及び管理監督者向けなどハイレベルのスキルや知識を習得できる人材育成セミナー「東三河産業アカデミー」を実施し、人材育成・経営・商品開発等をテーマとした 21 講座を開催（合計 366 社、544 名の参加）。

地方創生

連続テレビ小説「エール」の撮影協力などによる連携強化《再掲》【愛知県東三河広域観光協議会、豊橋市、豊橋商工会議所】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。
- 2019 年 7 月 12 日に『エール』で豊橋を盛り上げる会」を設立。HP による魅力発信、フラッグ、ポスター等の作成、土産物の開発、特産品プロモーションの実施。

地方創生



（エールで豊橋を盛り上げる会について）

三遠南信連携の推進

- 「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」は、2019 年 3 月 27 日、三遠南信地域の発展の方向性を明確に示すとともに、持続可能な地域づくりの指針として「第 2 次三遠南信地域連携ビジョン」を策定。
 - ・テーマ：三遠南信流域都市圏の再生
～日本の県境連携先進モデル～
 - ・基本方針：道、技、風土、住、人の 5 分野を設定。
 - ・重点プロジェクト：「三遠南信交通ネットワーク」、「三遠南信圏民の一体感醸成」、「地域の稼ぐ力強化」、「三遠南信探訪」、「中山間地域が輝く」、「住むなら三遠南信」、「人生 100 年時代」の 7 プロジェクトを設定。
- 2019 年 10 月 30 日（水）に、飯田市で第 27 回三遠南信サミット 2019in 南信州を開催。「三遠南信地域とスーパーメガリージョン構想」と題したパネルディスカッション、連携検討会等を実施。

第2次
三遠南信地域
連携ビジョン
SENA VISION 2030



（第 2 次三遠南信連携ビジョン）

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化《再掲》

【東三河の 4 大学、豊橋市、豊川市、田原市、㈱サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 2014 年 10 月に、産学官が連携し、地域産業・地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 2019 年度は、「ドラマ制作から見た人づくり」をテーマとした人材育成講演会等を開催。
 - ・開催日：2020 年 2 月 13 日（木）
 - ・会 場：穂の国とよはし芸術劇場 P L A T
 - ・講演者：福澤克雄氏
（TBS ドラマディレクター、豊橋ふるさと大使）
 - ・参加者数：226 名



（人材育成講演会の様子）

地方創生